

健康食品業界をリードする有力各社の動向

乳酸菌生産物質の生産増強、月産12トン以上に「健康経営優良法人2017」に認定

(株)光英科学研究所

同社は、乳酸菌生産物質の需要拡大に対応するため、生産能力を増強させる。11月中にも生産設備の増設を終え、月産12トン以上とする。需要拡大にともない、業績は右肩上がりの推移を見せている。また、消費者の健康とともに、従業員の健康維持・増進にも取り組み、経済産業省が支援する「健康経営優良法人2017」に認定された。

11月中にも生産能力を拡大へ

同社は、乳酸菌生産物質の新素材『FF(ファインフローラ)16』を供給する。無農薬による国産大豆豆乳を培地に使用。4種のビフィズス菌を含む16種35株の乳酸菌を共棲培養する。これらの菌群が作り出す代謝物成分をエキスとして抽出。原液をバインダーなしで100%粉体化している。

本社工場(埼玉県和光市)の生産能力は月産で約7トン。需要拡大に対応するため、新棟の建設を進めている。発酵槽2台、搾汁機器1台などを増設する。11月中をめどに増強を終える予定だ。これにより月産12トンまで生産能力を引き上げるが、最大で月産24トンも可能という。

国内需要の高まりに加え、中国やEUからの需要も拡大中。今後は海外展開も本格化させる。

右肩上がり業績が推移

国内外の乳酸菌生産物質に対する需要の拡大につれて、業績も右肩上がりでも推移している。昨年10月～今年9月までの売上状況を見てみる。昨年10月の月間売上高は約5,900万円だが、12月には約1億3,800万円に拡大。その後も勢いが増し、今年2月に2億円を突破、5月には約3

億5,000万円を達成。さらに、7月に4億3,000万円を超え、9月には5億円を達成した。

村田公英代表は「『FF16』の注文が急増中。サンプルテストを実施の上、商品の量産化を図るためのものであり、体感性が実感できた証拠だと思われる」と話す。

同社では、乳酸菌生産物質の機能性・安全性に関する科学的知見の整備に努めてきた。慶応大などと共同で、原料に含まれる352種類の物質を特定。現在はお茶の水女子大学と共同で、ヒト試験による機能性研究を進めている。

「健康経営優良法人」に認定

消費者の健康を願う企業である以上、同社では従業員の健康の維持・増進にも注力している。そうした取り組みが評価され、このほど、経産省が支援する健康経営優良法人認定制度で、「健康経営優良法人2017」(中小規模法人部門)に認定された。

同制度は、経産省の全面的な支援の下、民間組織の日本健康会議が運営。健康経営を実践している大手や中小のうち、とくに十分な取り組みを行う企業を対象に顕彰している。



「健康経営優良法人」の認定証

また、村田代表が書き下ろした著書「『乳酸菌生産物質』に賭けた人生」がこのほど、日本シニアリビング新聞社から発刊された。著者が研究生として過ごした時代から、同社の創設、現在に至るまでの軌跡が綴られている。

COMPANY INFORMATION

所在地：埼玉県和光市新倉5-1-25
(本社)

TEL：048-467-3345

FAX：048-467-3374

URL：<http://www.koei-science.com>

事業内容：乳酸菌生産物質の製造・販売、
乳酸菌の培養